

# ねりまの文化財

## 東京文化財ウィーク2018

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、通年公開と、ウィーク期間中の特別公開とがあります。区では、企画事業として遺跡の解説会を行います。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編と通年公開編は9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎8階)・石神井公園ふるさと文化館等で配布する予定です。

### 企画事業 尾崎遺跡・石神井城跡・練馬城跡の出土品展示解説会

尾崎遺跡の展示と、石神井城跡や練馬城跡から出土した中世遺物の展示解説を行います。特に、石神井城跡からの出土品は今回初めての展示となります。ぜひおいでください。

【解説会日時】10月28日(日)

午前10時・午後2時(全2回)

※各回60分程度(予約不要)

【場所】春日小学校 1階 資料展示室 (春日町5-12)

【交通】練馬春日町駅下車 徒歩8分

【問い合わせ】伝統文化係

【展示期間】10月27日～12月24日の

土日祝日、10時から16時(要予約)

03-3926-7102(春日小)

また、近くの向山庭園(向山3-1)



石神井城跡出土の青磁 (中国からの舶来品)

12月21日でも練馬城跡の出土品やパネルを展示しています。

【展示期間】10月27日～11月4日の9時から17時

### 公開してご活用！

国指定・登録、都指定の文化財

#### ●練馬白山神社の大ケヤキ

(国指定天然記念物)

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

#### ●石神井城跡(都指定史跡)

●三宝寺池沼沢植物群落

(国指定天然記念物)

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅下車 徒歩15分

#### ●牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)

(国登録記念物)

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅下車 徒歩5分

【開園時間】9時～17時

※火曜日休園

#### ●小野蘭山墓及び墓誌

(都指定有形文化財)

【所在】練馬4-27 迎接院墓地内

(墓誌の公開は2ページ参照)

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

#### ●池永道雲墓(都指定旧跡)

【所在】練馬4-27 受用院墓地内

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

#### ●東高野山奥之院(都指定史跡)

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅下車 徒歩5分

#### ●丸山東遺跡方形周溝墓出土品

(都指定有形文化財)

【所在】石神井公園ふるさと文化館

(住所等は2ページ参照)

東京文化財ウィーク2018参加事業  
石神井公園ふるさと文化館

●特別展「鳥瞰図」  
ちやうかんず

—空から見る大正昭和の旅—

大正・昭和初期の観光ブームの中、鳥の目で高い所から見下ろしたように描いた風景図や沿線案内図が多数作成されました。各地の名所を描いた壮大な鳥瞰図を紹介するとともに、鉄道各社が競うように発行した鉄道パノラマ地図なども展示します。



上・榛名山御案内 (昭和2年)  
下・西武鉄道沿線御案内 (昭和2年)



【期間】9月15日(土)～11月4日(日)

午前9時～午後6時

【場所】石神井公園ふるさと文化館

企画展示室

【特別展観覧料】一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳未満・障害者手帳をお持ちの方150円、中学生以下・75歳以上の方は無料

●特別展関連講演会①

「鳥瞰図の楽しみ」

沿線案内図に見る私鉄の歴史

【日時】9月24日(月・休)

午後2時～3時30分

【場所】石神井公園ふるさと文化館

多目的会議室

【講師】今尾恵介氏(一般財団法人日本地図センター客員研究員)

【定員】90名

【参加費】無料

【申込】9月11日から電話受付(先着順)

●特別展関連講演会②

「鳥瞰図の歴史と魅力」

【日時】10月28日(日)

午後2時～3時30分

【場所】石神井公園ふるさと文化館

多目的会議室

【講師】藤本一美氏(鳥瞰図・展望図資料室主宰)

【定員】90名

【参加費】無料

【申込】9月11日から電話受付(先着順)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、東京都指定史跡)の発掘調査の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】10月27日(土)～11月4日(日)

午前9時30分～午後4時30分

【場所】都立石神井公園内石神井城跡

(石神井台1丁目)

●特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(東京都指定有形文化財)を、特別公開します。

【期間】10月18日(木)～11月6日(火)

【場所】石神井公園ふるさと文化館

常設展示室(観覧無料)



●通年公開「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」

壺形土器、鉄剣、ガラス玉、管玉からなる出土品は、弥生時代後期の墓制を知る上で貴重な資料です(東京都指定有形文化財)。

【場所】石神井公園ふるさと文化館

常設展示室(観覧無料)

●展示会「古民家復元」

(東京9区文化財古民家めぐり実行委員会・公財)特別区協議会との共催事業

練馬区を含め、都内9区では、17棟の古民家がそれぞれの特徴を表す年代の形に復元されています。

古民家の復元がどのようになされるのか、昨年、復元工事を行った板橋区の粕谷家住宅をはじめ、各区の古民家について紹介します。

【期間】10月4日(木)～11月8日(木)

平日・午前9時～午後8時30分

土曜・午前9時～午後5時

(日曜・祝日休館)

【場所】東京区政会館

(千代田区飯田橋3-5-1)

1階エントランスホール

【観覧料】無料

【申込・問合せ】

石神井公園ふるさと文化館

住所 練馬区石神井町5-12-16

電話 03(3996)4060

休館日・月曜日(月曜日が祝日日の場合はその翌平日)・年末年始

開館時間・午前9時～午後6時

詳細はふるさと文化館ホームページ

(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。

(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。

(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。

# 練馬区登録無形民俗文化財の紹介 大山講灯籠立て行事



灯籠(下石神井2-4)

区内では、富士山と同じ西方に大山(阿夫利山)を望むことができます。大山は、神奈川県の丹沢山地の山で、山頂に阿夫利神社本社、中腹に阿夫利神社下社があり、古くから人々に信仰され、江戸時代以降、隆盛を極め多くの参詣者が訪れました。区内の北東から南西を貫く富士街道は、「ふじ大山道」と呼ばれた旧道で、富士山や大山への参詣にはこの道が利用され、道沿いにはその頃に建てられた道標や石造物が現在でも見られます。

区内では、江戸時代以降、大山を信仰し参詣する講が組織されました。向三谷大山講もそのひとつです。向三谷とは、下石神井1、2丁目付近の旧字名で、「むこうさんや」、「むげさんや」などと呼ばれています。

向三谷大山講では、大山の夏山開きに合わせて、農作物の豊作を祈願する灯籠立



講員で拝礼



大小の灯籠に火を灯す

て行事を、毎年7月26日から8月16日までの22日間行っています。

平成4年(一九九二)に、練馬区文化財保護推進員の長坂淳子氏が行事を取材しています(「ねりまの文化財」第14号)。当時は、講員が15人おり、毎年7月26日に灯籠を立てて直会を行い、8月16日に灯籠じまいを行っていました。

今回、7月26日に灯籠立て行事を見学し、講元の新倉義博さんに現状についてお話を伺いました。

講員は7人となり毎年灯籠を立てることも難しくなりました。以前は千川通りよりの畑の中に灯籠を立てていましたが、駐車場となったため、10メートル程位置を北に移動し、灯籠は風雨をしのげる土台と屋根を作り据え置きにしています。

26日の朝、講元が、葉のついた青竹を灯籠の脇に立て、午後3時に講中が灯籠前に集まり、ろうそくに火を灯し、拝礼をします。ろうそくは20分程で消えるため、夜に再び火を灯します。26日以降8月16日までには講の人達が回り番で火を灯します。16日は竹をとりはずしますが、8月中は講元が灯籠に火を灯します。なお、灯籠が立て置かれるようになってからは、毎月1日(月によっては15日)にも講元が火を灯し拝礼します。竹は、灯籠じまいの後に細かく切って畑に残し、灰にして土に返していました。現在は12月31日に天祖神社(下石神井6-1)のお焚きあげのため持っていくます。



大山代参の記録

大山には毎年4月に3名が、自動車で日帰りの代参(講を代表して参拝)をします。費用は講金(講員が出しあう札代など)を集めます。大山では御師小川家の宿に行き、古札を納め新札を預かってきます。「大山代参芳名帳」に、納入額と代参者名を記載してもらいます。代参が終わると講員に札を配り、翌年の代参者を籤(くじ)で決めます。

向三谷では、大山のほか、武州御嶽山、榛名山の講がありますが、榛名山代参は現在休止中です。灯籠近くに武蔵御嶽神社下津宮向三谷講御社(下石神井2の1)があります。数年前までは灯籠立て行事後に、講中で拝礼することもありましたが、今は個々でされるとのこと。急速な近代化が進む中、人々の生業や生活様式、交通手段も大きく変化していますが、行事や参詣も時代に順応しながら続いています。

# 文化財保護推進員の 活動を紹介します!

練馬区では、昭和63年から文化財保護条例に基づき、文化財保護推進員制度を導入しています。平成30年4月1日付で、第16期練馬区文化財保護推進員として、12名に委嘱しました。再任の7名に加え、小林氏、守随氏、須藤氏、関氏、西勝氏が新しく就任しました。任期は2年です。

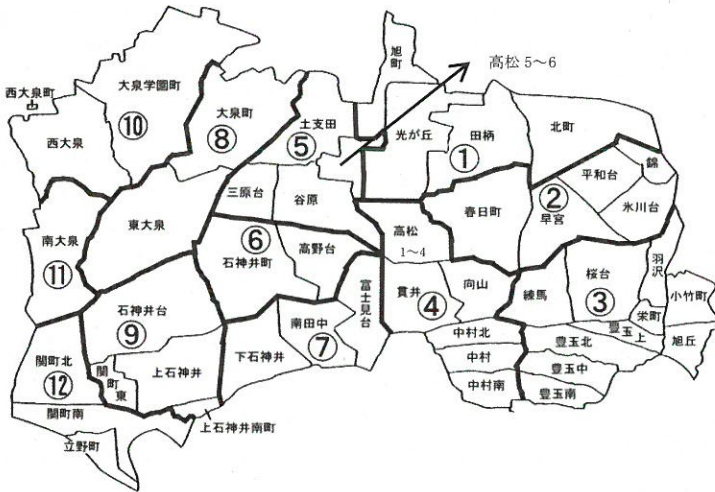
下図のとおり、練馬区を12の地域に分け、文化財保護推進員の担当区域としています。

各推進員は、担当する地域の文化財の巡回や調査を行い、保存状況等の把握に努め、文化財の保護・保存のための活動をしています。巡回の際には、文化財所有者の方に文化財の現状についてお話を伺ったり、文化財のご近所にお住まいの方に、情報収集をさせていただくこともあります。

これらの活動成果は、年3回開催している、文化財保護推進員連絡会で報告され、区では文化財の現在の状況を把握し、必要に応じた対応を行っています。

これらの活動以外にも、区主催の文化財関連事業への協力を通して、文化

財の保護、普及に努めています。区民の皆様が、区内の文化財に関心を持たれるとともに、文化財保護推進員の活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



①伊藤義夫



②須藤麻世



③八巻孝夫



④平田英二



⑤関洋一



⑥守随秀子



⑦岩崎秀男



⑧西勝克明



⑨長坂淳子



⑩小林巧



⑪松下真理



⑫越章夫

## 新刊の紹介

『一夢の工場―ねりま・映画・ものがたり 練馬と映画、アニメーションの歴史』を刊行しました。本冊子は、これまで練馬区内で育まれてきた「映像作品」や「ひと」に焦点をあて、区と映画やアニメーションとのかわりかわりをまとめたものです。映像文化にかかわる練馬区の特徴や魅力を知ることが出来る内容となっています。

○販売・閲覧  
A4判・256頁 一三〇〇円

区民情報ひろば

(練馬区役所西庁舎1階)

産業・観光情報コーナー

(練馬1-17-1ココネリ内)

石神井観光案内所

(石神井町3-23-8駅南口)

※区立各図書館でも閲覧できます。

